

「起きよ。光を放て。」
 (イザヤ 60:1)

万民中央ニュース

民族福音化と世界宣教の使命を持つ万民中央教会

わたしたちは、聖書の教えと正統的キリスト教の信仰に立ち、新興宗教団体であるエホバの証人・モルモン教・統一教会とはいっさい関係ありません。

第67号 2008. 11. 2.

神の力



神は、一度告げられた。二度、私はそれを聞いた。
 力は、神のものであることを。(詩篇62:11)

神様は
 しるしと不思議を見ないかぎり信じない人々に
 神様が生きておられることを現されるために
 きのうもきょうも同じように働いておられます。

万民中央教会の沿革

HISTORY OF MANMIN CENTRAL CHURCH



- 82. 7. 25. 開拓
- 82. 10. 10. 教会創立
- 83. 10. 11. マンミン祈禱院 設立
- 84. 03. 12. マンミン宣教院 開院



- 84. 12. 31. 聖殿移転
- 85. 10. 21. 光と塩宣教会 設立
- 86. 05. 07. イ・ジェロク伝道師 牧師按手
- 86. 12. 22. ヨンドン万民教会 創立礼拝(国内の支聖殿1号)



- 87. 3. 22. 聖殿移転
- 87. 04. 15. 『死の上から甦て味わう永生』発刊
- 87. 05. 17. 「万民中央ニュース」創刊号発刊
- 87. 06. 25. ミリャン万民教会開拓(国内の支教会1号)
- 90. 04. 01. 国内外で放送説教



- 91. 2. 10. 聖殿移転
- 91. 07. 01. 02. イエス・キリスト大韓連合聖潔教団 総会創立
- 92. 03. 01. ニシ・オーケストラ創団
- 92. 03. 25. 連合聖潔神学校 開校
- 92. 08. 14. 15. 92世界聖霊化大聖会
- 93. 02. 08. 世界50大教会選定(アメリカ『クリスチャンワールド』誌)
- 93. 08. 06.-08. 93アジア福音化聖会(初めての海外聖会)
- 94. 02. 28. 日本飯田万民教会創立(海外の支教会1号)
- 94. 09. 04. 電話の3分説教およびいやしの祈り 開設
- 95. 08. 12. 光復50周年記念平和統一大会



- 96. 6. 10.-20. 第4回2週連続特別リバイバル聖会
- 96. 12. 15. 国内支教会で同時画像礼拝開始
- 98. 08. 02. 全世界で礼拝のインターネット生放送開始
- 99. 09. 07.-17. パキスタン主のしもべセミナーおよびリバイバル聖会(初めての海外でのハンカチ集会)
- 00. 01. 01. マンミンテレビ開局
- 00. 07. 05.-09. ウガンダ牧会者セミナーおよび大聖会
- 00. 09. 14. 15. 日本名古屋ミラクルコンベンション
- 00. 10. 19.-22. パキスタン牧会者セミナーおよび連合大聖会
- 01. 06. 27.-07. 01. ケニア牧会者セミナーおよび連合大聖会
- 01. 09. 26.-29. フィリピン教会指導者セミナーおよび連合大聖会
- 02. 07. 26.-28. ホンジュラス牧会者セミナーおよび連合大聖会
- 02. 10. 10.-13. インド牧会者セミナーおよび連合大聖会
- 03. 11. 12.-14. ロシア連合大聖会
- 04. 10. 01.-03. ドイツ連合大聖会
- 04. 12. 02.-04. ベルー連合大聖会
- 05. 10. 10. GCN放送開局
- 06. 02. 16.-18. コンゴ連合大聖会
- 06. 07. 27.-29. アメリカ・ニューヨーク連合大聖会
- 07. 07. 25. イスラエル宣教開始
- 08. 10. 12. 教会創立26周年



Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7042, 7063
 Fax: 82-2-818-7048
 www.manmin.org
 e-mail: ksy8187042@yahoo.co.jp



MANMIN TV

Tel: 82-2-818-7334
 Fax: 82-2-813-7339
 www.manminseminary.org
 e-mail: info@manmintv.org



World Christian Doctors Network

Tel: 82-2-818-7039
 Fax: 82-2-830-5239
 www.wcdn.org
 e-mail: wcdnkorea@gmail.com



日本各支教会(4連絡先参照)



堂会長イ・ジェロク牧師

信仰の量り(3)

「バプテスマのヨハネの日以来今日まで、天の御国は激しく攻められています。そして、激しく攻める者たちがそれを奪い取っています。」(マタイ11:12)

1. 聖霊に助けられる新約時代

〈マタイの福音書11:12〉に「バプテスマのヨハネの日以来今日まで、天の御国は激しく攻められています。そして、激しく攻める者たちがそれを奪い取っています。」とあります。天国は神の国であり、敵である悪魔・サタンが近づくこともできない光の領域です。いったい誰が天国を激しく攻めて、どのようにして天国を奪い取るのでしょうか？これは、救われた神の子どもたちが信仰で天国に入って行く過程、全き信仰に至る過程を説明しているのです。すべての人は罪によって地獄に行くほかにないのですが、イエス・キリストを信じれば誰でも救われて、天国に行けます。しかし、敵である悪魔・サタンは、何としてでも信じないように妨害します。すでに主を受け入れた人でも、惑わして罪を犯すようにしようと、虎視眈々機会をねらっています。このような悪魔・サタンと戦って勝ち、天国を奪い取らなければならないのです。

バプテスマのヨハネはイエス様の道を備える人で、イエス様が救い主の働きを完成されるようにイエス様を証しする使命をゆだねられました。「バプテスマのヨハネの日以来今日まで」とは、イエス・キリストの時代のことであり、信仰で救われる新約時代を意味するのです。

まず、新約時代と旧約時代の救いの基準について調べてみましょう。旧約時代は、律法の行ないによって救われました。律法を守り行なわなければならない、守れなくて罪を犯した時は、罪のためのいけにえをささげてはじめて罪が赦されました。一方、イエス・キリスト以後の新約時代は「聖霊の時代」あるいは「恵みの時代」と言います。今は、罪のためのいけにえをささげなくても、主イエスを信じれば救われるからです。主の尊い血と聖霊の力で罪が赦されて、救われるのです。ある人々はこのみことばを誤解して、新約時代には口で「信じます」と言えば、罪を犯しても赦されて救われると考えます。これは誤った考えです。旧約で「行ないによる救い」とは、たとえ心に悪があっても、行ないで罪を犯しさえしなければ「罪がある」とみなされない、ということです。一方、新約では、行ないで罪を犯さなくても、心に悪をいだいたこと自体がすでに罪であり、兄弟を憎めばすでに殺人者と同じなのです。まして行ないで罪を犯せば、よりいっそう大きい罪になるのです。

〈ガラテヤ人の手紙5:19-21〉に「肉の行ないは明白であって、次のようなものです。不品行、汚れ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、酩酊、遊興、そういった類のものです。前にもあらか

じめ言ったように、私は今もあなたがたにあらかじめ言うておきます。こんなことをしている者たちが神の国を相続することはありません。」とあります。

「肉の行ないをする者たち」、すなわち、行ないで罪を犯す人々は、神の国を相続できないのです。その他にも、旧約や新約、聖書の所々には、行ないで罪を犯す人は神様と関わりがない、と警告されています。救われる信仰があるならば、行ないに現れた罪はもちろん、心の悪までも捨てるべきだということが、まさに今日、私たちに向けられた神様のみことばなのです。

それでは、旧約時代より新約時代に救われるほうが難しいのでしょうか？そうではありません。旧約時代には自分の意志と努力で罪を犯さないで、律法を守らなければなりませんでしたが、新約時代には自分の力でなく、聖霊の力で罪が捨てられるからです。

〈ローマ人への手紙10:10〉に「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」とあるように、心に確かな信仰がある人は、必ず律法を守り行なうのです。聖なる神様が私たちの父であられることと、イエス様が自分の罪のために十字架を負われたことを信じたら、当然罪を捨てようと努力するようになります。悪を行っていた人が善を行なって、行ないに現れる罪だけでなく、心の罪の性質そのものまで脱ぎ捨てて、正しい人に変えられていくのです。

人は自分の力で変えられるわけではありません。イエス・キリストの尊い血と、私たちに助けてくださる聖霊の力で変えられるのです。たとえば、聖徒の皆さんは、主を受け入れた後に聖霊が働かれると「酒、タバコが簡単にやめられた」と言います。このように、信仰で主を受け入れて罪を捨てようと努力していくとき、聖霊の力が臨み、行ないで犯す罪はもちろん、心にある罪の性質まで捨てられるようになります。

旧約時代には、聖霊が受けられなかったため、心の罪までは捨てることができなくて、天国に激しく攻めて入れませんでした。アブラハムやモーセのような人々は、やがて来られる主を信じて、さらにすばらしい天国に攻めて入りましたが、そのような人々は極めて少数にすぎません。ですから、聖霊を受けて心の罪を捨てて、よりすばらしい天国に攻めて入れる新約時代の私たちのほうがもっと幸いなのです。

2. いろいろな場所に分けられている天国

天国は私たちの目に見える空の上にあるわけではありません。天国は見えない霊の天に属していて、霊の天はこの肉の天と次元が違う領域です。霊の天もまた、

いろいろな天に分けられます。

〈ネヘミヤ記9:6〉に「ただ、あなただけが主です。あなたは天と、天の天と、その万象、地とその上のすべてのもの、海とその中のすべてのものを造り、そのすべてを生かしておられます。そして、天の軍勢はあなたを伏し拝んでおります。」とあり、〈列王記第一8:27〉にも「天も、天の天も」とあるし、その他にも聖書のあちこちに天が一つでないことが記されています。〈コリント人への手紙第二12:2〉には、使徒パウロの霊が「第三の天」に引き上げられたことが語られています。第三の天があるなら、当然第一、第二の天があって、それ以上の天も存在すると考えられるでしょう。パウロが言う「第三の天」とは、天国がある天であり、使徒パウロが見た場所は「第三の天」の中でもパラダイスでした(第二コリント12:4)。

それでは、パラダイスとはどんな所でしょうか？十字架上で死の直前に主を受け入れた強盗のように、かろうじて救われる信仰を持った人が行く場所が、パラダイスです。神のみことばに従って生きられなくて、神の国に忠実であったこともないので、報いもない、天国でも最も低い天国です。〈ヨハネの黙示録21章〉には、使徒ヨハネが見た天国の新しいエルサレムが記されています。十二の宝石が土台石を飾っている、聖なる栄えの都として描かれています。そこは天国でも最も栄華を極める場所で、神の御座がある所であり、神のことばを完全に守って心に耕して、大きい信仰を持った人々がとどまる所です。新しいエルサレムとパラダイスの間には、いろいろな段階に分けられた場所、すなわち、一天層、二天層、三天層があります。皆さんがそのうちのどの場所に入るのかは、皆さんの信仰によって決められます。惑わす敵である悪魔・サタンを退けて、血を流すまで罪と戦って捨て、真理の心に変えられるほど、よりすばらしい場所に入る資格を得るのです。

3. よりすばらしい天国に攻めて入るには

〈マタイの福音書13:31-32〉で、イエス様は「天の御国は、からし種のようなものです。それを取って、畑に蒔くと、どんな種よりも小さいのですが、生長すると、どの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て、その枝に巣を作るほどの木になります。」と言われました。

からし種は種の中でも小さいほうで、白紙の上にペンで点をつけたほどの大きさです。救われたばかりの聖徒の信仰はからし種ほどですが、その種を自分の心の畑に蒔いて熱心に育てれば、雨風にもびくともしない木のような大きい信仰に育ちます。大きい木には多くの

鳥が宿って休むように、信仰が大きい人は多くの魂がいただけます。信仰が弱い人々にいのちを植えつけて、霊的な休みを与えることもできます。このような大きくて広い心になれば、天国でも、それだけさらに広くてすばらしい場所にとどまるようになります。

この地上でいくら良いこと、いくら美しくて華やかで幸せなことを想像しても、天国とは比べることさえできません。天国で最も低いパラダイスでも、この地上で最も美しい所よりはるかに美しいのです。一天層はパラダイスと、二天層は一天層と比べられないほどすばらしいし、三天層と二天層は天と地の差と言えるほどです。ですから、神の御座がある新しいエルサレムの栄光は、どうして言葉で説明できるのでしょうか？

天国は足で踏む道さえ純金で作られていて、神の御座から流れ出るいのちの水の川のほとりには金砂、銀砂が敷かれています。宝石のように輝く澄んだ水には色とりどりの魚が泳いでいて、花びら一枚、草の葉一枚を見ても、その清らかさとかぐわしさはこの地上のものとは比べられません。汚染されることもなく、老いたり腐ったり死もありません。天使が皆さんに仕えて、甘美な演奏を聞かせたりもします。

三位一体の神様、そして愛する人々とともに、幸せを味わいながら永遠にとどまるようになります。特に新しいエルサレムに入った神の子どもたちは、世のどんな皇帝でも得られない栄光と栄華を味わいながら生きていきます。使徒パウロは天国のパラダイスを一度見ても、大きい望みを持つようになり、主のために数え切れない苦しみにあいながらも、喜んでその道を行くことができました。

皆さんも、天国について明らかに知れば、まことにこの地上のものがむなしと悟るようになります。世のむなし欲と情欲をすべて捨てて、ただみことばどおり自分を変えさせて、すばらしい天国だけを攻めて入るために走って行くようになります。

私たちが将来とどまるようになる天国の場所は、私たちの耕作が終わる瞬間に決められます。ですから、まだ信仰が小さい人でも、今から熱心に天国に攻めて入れば、新しいエルサレムに入ることもできます。反対に、今は一天層や二天層に入る信仰でも、今後心の割礼を怠れば、むしろ信仰が退歩してパラダイスに行くか、まかり間違えば救われないこともあります。

したがって、天国を切に慕ってすみやかにより大きい信仰に至り、最もすばらしい天国を奪い取って入られますよう、主の御名で祝福して祈ります。





万民中央教会創立26周年 およびGCN開局3周年

記念礼拝および祝賀行事

聖潔の福音を伝え、大いなる神の力と聖霊のみわざを現す万民中央教会が、創立26周年を迎えた。10月12日、約30か国からの来賓をはじめ、聖徒、住民などが参加して、さまざまな祝賀行事を持った。

今回の行事は、10月10日金曜徹夜礼拝2部で教会の発展史を扱ったドキュメンタリー〈栄光〉が上映され、幕を上げた。12日の主日大礼拝の後、野外行事場で「マンミン新しいエルサレム天国の祝祭」が開かれた。ここでは記念写真撮影所と9種類の食べ物が備えられて、参加した人々がともに楽しい一時を過ごした。続いて午後3時、夕方礼拝の時は、教会創立26周年およびGCN(世界キリスト教放送ネットワーク)開局3周年記念礼拝と祝賀行事が3部に分かれて行われた。

1部記念礼拝では堂会長イ・ジェロク牧師が「神に受け入れられる子ども」(ローマ12:2)というメッセージを伝えた。続いて2部でGCN開局記念行事があり、3部では「栄光」というテーマで大規模な祝賀公演があった。この公演には本教会の芸能委員会から400人余りと、外部の100人以上の公演専門スタッフも参加した。今回の公演は、例年と違い、本聖殿の特設舞台と野外舞台で二元生放送したことが特徴である。今回、芸能委員会のチームはこれまで数多くの国内外の公演で磨いてきたテクニックで多様なプログラムを準備、キリスト教文化を通じた世界宣教の新しい可能性を見せた。

一方、すでに国際的な行事になっている教会創立およびGCN記念行事は、今年も約30か国からキリスト教界、政治界、言論界、WCDN(世界クリスチャン医師ネットワーク)関係者などの要人が参加して、GCNとマンミンテレビ、衛星放送、インターネットテレビで、全世界に生中継および録画中継された。

創立26周年の意義と海外宣教

今回の創立26周年は、神の力の働きによるグローバル宣教がますます盛んになる時に迎えた点で、その意義が大きい。万民中央教会は教会の成長とともに海外宣教の使命を果たすために、1993年にワシントン福音化連合大聖会をはじめ、96年にハワイ韓国人教会連合聖会およびアルゼンチン韓国人祝福大聖会などを開催した。2000年からはウガンダ連合大聖会を始めに本格的な海外連合大聖会を開き、以後、日本、パキスタン、ケニア、フィリピン、ホンジュラス、インド、ロシア、ドイツ、ペルー、コンゴ、ニューヨークなど、12回の海外大聖会で地球村の全域を巡る宣教で神様に栄光を帰し、数多くの魂を救うことに全力を尽くした。その最後の段階として「エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」と主が言われたように、正統ユダヤ教を信奉するイスラエルにまで聖潔の福音を伝えるために、本教会は昨年と今年の7回にわたる活発な交流により、イスラエル宣教の拠点を築いた。

韓国国内宣教と民族福音化の領域拡大

1991年7月、神様の摂理のうちにイエス・キリスト大韓連合聖潔教団が設立され、イ・ジェロク牧師は「'92聖霊化大聖会」の実務大会長をはじめ、「キリスト教世界リバイバル宣教協議会」の常任会長、「'95民族統一大聖会」の実務大会長などを務めて韓国国内宣教の一翼を担い、万民中央教会は主導的な役割を果たした。また、イ・ジェロク牧師は極東放送、アジア放送、キリスト教放送および海外の放送を含めて計900分の説教を放送し、最長放送時間を記録するなど、民族福音化の領域を広げることに全力を注いだ。

特に1993年から2004年まで12回開かれた2週連続特別リバイバル聖会は、聖徒の霊的な成長を助け、病気で苦しんでいた数多くの人をいやして、彼らの魂の救いに寄与した。

やむことのないマンミンの働き

神様は、教会創立26周年とGCN開局3周年を迎えるまで、聖潔の福音と神の力のわざが急速に全世界に宣べ伝えられるように祝福してください。今は、神様を愛し、まことの信仰がある世界中の聖徒たちとともに、神様の摂理の最後の段階に向かって信仰の行進を続けなければならない時である。26年間、多くの試練と訓練、そして恵みの中で、神様の摂理を実現できるように祝福された父なる神様に、すべての感謝と栄光を帰す。再び来られる主を迎えるその日まで、マンミンの疾走はやむことはないだろう。

創立26周年を祝うため 日本の宣教師と聖徒がソウル本教会を訪問

創立26周年記念礼拝とGCN開局3周年行事に参加するために、日本総会長ユ・スングル牧師をはじめ、日本支教会の担任牧会者と聖徒、計16人がソウルの本教会を訪問した。

10月10日、金曜徹夜礼拝の時は、連合賛美チームが各国語で特別賛美をしたが、日本語で歌うとき、日本の宣教師と聖徒たちも立ち上がり、喜びをもってともに賛美して栄光を帰した。

10月11日(土)は、牧師館で堂会長イ・ジェロク牧師との語らいがあった。イ・ジェロク牧師は、カナン聖殿とイスラエル宣教について語り、さらに活発な世界宣教と、海外支教会のリバイバルを託した。

10月12日、主日大礼拝の後、教会で心を尽くして用意した昼食を取り、野外行事に参加した。天国の絵を背景に写真を撮ったり、いろいろな食べ物を楽しんだりしながら幸せな時間を過ごした。主日夕方礼拝は創立26周年記念礼拝とGCN開局3周年記念行事としてさげ、開局行事では日本代表として岡山万民教会の時國裕博牧師が講壇に上がった。

10月13日(月)は、ムアンの甘い水の泉を訪問した。感謝礼拝の後、甘い水の泉の園で空を眺め、色とりどりの光と虹、雲に現われる形などを見ながら霊的な体験をした。トンボの群れも現れて体と手に止まって喜びを加えた。続

いて甘い水に身を浸す時間。心を込めて七回身を浸して、それぞれの心の願いを神様に祈った。

今回、本教会を訪問した日本の宣教師と聖徒たちは、世界的な行事と高い水準の公演を観て、もう一度「マンミンの家族」としての自負心を持ち、日本に帰ってさらに力を尽くして宣教に努めようと決心した。



日本支教会の連絡先

イエス・キリスト飯田万民教会

担任：柳 承吉(ユ・スングル)牧師
崔 乘蘭(チェ・ビョンナン)伝道師
山下 好美 牧師
安達 真理子 伝道師
イ・ハンヨン宣教師
住所：〒395-0807

長野県飯田市鼎切石 3883-4
連絡先：T) 0265-56-8286
F) 0265-56-8287

e-mail：imc@s9.dion.ne.jp
ホームページ：http://iidamanmin.to.cx/

名古屋万民教会

担任：時國 みや子 伝道師
住所：〒465-0014
名古屋市名東区上菅 1-916
連絡先：T) 052-774-8874
F) 052-774-8883
e-mail：nago_mhc@maroon.plala.or.jp

イエス・キリスト山形万民教会

担任：チャン・カンソプ牧師
住所：〒999-3716
山形県東根市蟹沢 1486-4
連絡先：T/F) 0237-43-0771
e-mail：ymgtjks@gmail.com

イエス・キリスト別府万民教会

担任：加藤 勲 牧師
住所：〒874-0924
大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
連絡先：T/F) 0977-23-8980
e-mail：b.manmin@galaxy.ocn.ne.jp

イエス・キリスト大阪万民教会

担任：キム・マルコ牧師
キム・モニカ宣教師
住所：〒591-8023
大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15
連絡先：T/F) 072-220-5289
e-mail：osmanmin@hotmail.com
ホームページ：www.eonet.ne.jp/~osakamanmin

イエス・キリスト旭川万民教会

担任：小松 幹 伝道師
住所：〒071-8144
北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
連絡先：T/F) 0166-53-0652
e-mail：asa-mhc@hokkaido.email.ne.jp

イエス・キリスト東京田端万民教会

担任：チョン・ギョンテ牧師
ソン・アミ宣教師
住所：〒114-1102
東京都北区田端新町 2-25-3
連絡先：T) 03-3809-3326
e-mail：manjeong17@yahoo.co.jp
ホームページ：http://tabata.manmin.or.kr/

イエス・キリスト川崎万民教会

担任：平良エリカ 伝道師
住所：〒210-0818
神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目
12-8 グリーンヴァレ 301号室
連絡先：T) 044-277-0178

イエス・キリスト松本万民教会

担任：伊藤 正明 牧師
伊藤 時子 伝道師
住所：〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
連絡先：T) 0263-57-0003
F) 0263-57-0015
e-mail：mmcito4343@nifty.com

イエス・キリスト舞鶴万民教会

担任：キム・マルコ牧師
キム・モニカ宣教師
住所：〒624-0913
京都府舞鶴市宇上安久 138
連絡先：T) 0773-75-5656
F) 0773-77-7888
e-mail：osmanmin@hotmail.com

岡山万民教会

担任：時國 裕博 牧師
住所：〒701-2155 岡山市中原460
連絡先：T) 086-275-7276
e-mail：oky_777@blue.plala.or.jp

イエス・キリスト八千代万民教会

担任：青木 久尚 牧師
住所：〒276-0045
千葉県八千代市大和田 670
連絡先：T/F) 047-483-3587
e-mail：hisanao@kyi.biglobe.ne.jp

イエス・キリスト鉾田万民教会

代表：飯塚 優
住所：〒311-2102
茨城県鉾田市台濁沢1080-6
連絡先：O) 0291-39-9177
e-mail：surf9snow9@yahoo.co.jp

イエス・キリスト東京万民教会 (東京万民宣教センター)

担任：崔 乘蘭(チェ・ビョンナン)伝道師
リュ・ウンギョン伝道師
住所：〒160-0004
東京都新宿区四谷一丁目8-8
佐伯千成ビル5-B
連絡先：T/F) 03-3356-9830
e-mail：imc@s9.dion.ne.jp

横浜鶴見福音教会(協力)

担任：前田 實隆 牧師
住所：〒230-0047
神奈川県横浜市鶴見区下野谷町 3-104-4
連絡先：T) 045-521-5843